

クラス番号	345	担当教員名	小林 洋司
テーマ	社会問題に向き合うための<福祉>教育・<ボランティア>学習に関する研究		
著書・論文 研究課題等	「合理的配慮をめぐる対話を阻むもの—自己開示を可能にする条件の検討—」 「福祉科教育法とESD実践の接点—『福祉を教えること』に関する方法論的検討—」 「福祉教育・ボランティア学習としてのハンセン病問題学習の構築」 など 「ひとが変わる」「意識が変わる」場や方法づくりに関心があります。		

ゼミナール概要

キーワード: 福祉教育、ボランティア学習、人間の変容、社会運動と学び

目的、内容、方法等:

本ゼミナールでは、人間が変わっていく過程に関心を持ち、実践・研究に関わっていくことを通して「社会づくり」を担っていく「人財」を育成していく条件や方法について考えることを目的とする。具体的には、以下のような学習目標を想定している。

- ①ひとつの問題が多くの問題とつながっていることについて考察を深めることができる。
- ②ひとつひとつの「いのち」の存在と実感を大切にできるようになる。
- ③自分自身の「世界」や「社会の見方」を拓げて考えられるようになる

以上のような目標を達成するべく、研究や実践の理論及び手法に関する学習を進めていく。

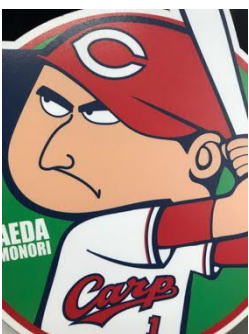
授業計画: 詳細は未定であるが以下のような内容の学習を進めていく予定である。

- ・社会福祉問題・社会問題に関する基礎的学習
- ・福祉教育・ボランティア活動に関する学習
- ・出会いや学びを豊かにする「仕掛け」に関する学習
- ・自分自身の考え方の根底にある「あたりまえ」を問い直す学習

その他、必要に応じていろいろな教育・学習の機会を考えています。
教育・学習に限らず色々な関心をもちよることのできる演習になればと考えています。

※状況によりませんが、学校外学習はもとより、場合によっては合宿が含まれることがあります。

担当教員からのメッセージ



わたしが専門としている領域はふくしにかかわる「教育・学習」論です。また、研究テーマとして取り組んでいるのはマイノリティ問題(病い、障害など)です。とりわけ、人がマイノリティ問題について学ぶ機会や、方法、そして意味や価値そのものについて関心をもっています。福祉と教育は関わりが薄いように思われる人もいるかもしれませんが、私はそうではないと考えています。ひととひとのあいだを「むすんだり」、「ほぐしたり」、時には「むすんだりほぐしたりすること自体の意味を考える」ことは大変重要であると考えます。ゼミのメンバーとなる方々にもこのような課題に積極的に関心をもとうとする姿勢を求めます。

それほど楽ができるゼミではないかもしれませんが、「広い意味でおもしろく、意味がある」時間を受講する皆さんと創っていきたいと思っています。

一緒に学んでいきましょう!